

犬山白寿苑だより

立冬を過ぎ、日増しに寒さが増してまいりました。春にしまい込んだ冬物のマフラーやコートを取り出すと、半年しか経っていないのに『懐かしさ』を感じます。

「いやあ、久しぶり、今年も頼むよ。」

寒さが募る中、本格的な冬支度を始めないといけませんね。クローゼットを開けて、茶色・グレー系の服を着用したいのは寒さを感じて来たせいでしょう。

年末と言えば、今年もあと一ヶ月あまり、本当に早いものです。テレビや新聞からは、年賀状のCMも流れています。

でもその前に、白寿苑でもクリスマス会などのイベントがあります。風邪などひかないよう、体調管理をしっかり行いましょう。

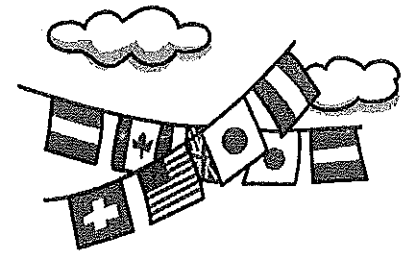
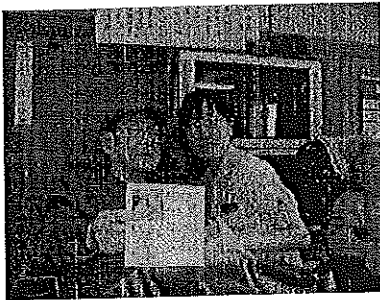


『濫觴館 誕生会』

誕生日は毎年、迎えるものなのでイベントの内容が同じにならない様に余暇委員を始め、職員一同で日々、考えています。

例えば、昔話を劇風に演じたり、オリジナルの誕生歌を着ぐるみを着てタンバリンを鳴らして踊ったりして楽しんで頂けるよう工夫しております。祝われた方は照れ笑いしているような仕草も見られるため、少しでも喜びを感じて頂け、こちらとしてもすごく嬉しい思いでいっぱいです。バースデーカードも作成しており、誕生月に関係する物をバースデーカードの形にし、誕生者にプレゼントして一年に一回の記念日を意義深いものにして欲しいと思います。

濫觴館だより



尚齒館だより

『スポーツ大会』

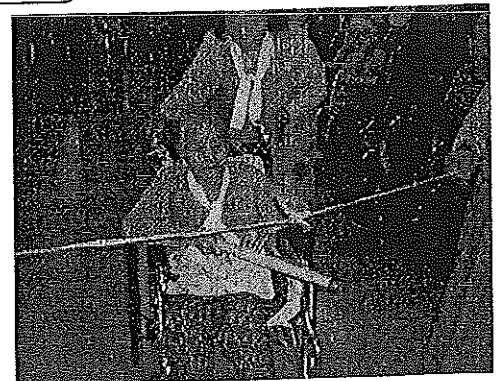
去ること、十月十四日。濫觴館・尚齒館のスポーツ大会が行われました。しかしながら、今年もあいにくの天候。外では行えず尚齒館の食堂で行うこととなりました。利用者・職員で紅組と白組に分かれ、白熱した戦いが行われました。

一回戦目は、風船割りリレー。結果は白組の勝ち――

二回戦目は、スプーンリレー。手作りの大きなスプーンに玉を乗せてのリレー。一回目・二回目共に紅組の勝利でした。

三回戦目は、玉入れ。両者とも一歩も譲らず、玉をひたすら投げ続けた結果は、一回目は白組、二回目は紅組の勝ちとなりました。さあ、最後の種目は利用者ではなく、職員対抗リレー。利用者に負けず一生懸命にたすきを繋いだ結果。紅組が勝ちました。どの試合も僅差で負けず劣らず、どちらのチームも応援していました。全ての競技が終わり、総合結果は、紅組の優勝となりました。利用者・職員、一致団結し様々な競技に参加できたことでしょうか。来年は天候に恵まれた秋晴れの中で行えたらと思います。さて、来年はどちらのチームが勝つのか――

来年もどのような試合になるか楽しみです。



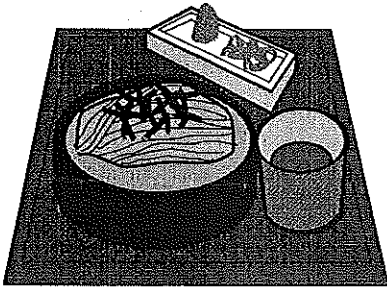
ユニットだより

寿行館のユニットでは利用者さんに食べることの楽しみをこれまで以上に味わって頂くために十月より食事の配膳方法を改善しました。

今まではお膳に「飯をのせて提供して頂きましたのを新しく、職員が作ってきたラッチョンマットを使って食事をしていたいただきましたという、毎日おしほりの用意と一緒に手伝って下さるAさん…いつもとは違う食事テーブルにて、何じゃ、この布？」と不思議そうに眺めてみえましたが、ラッチョンマットの上に自分の見慣れた湯飲みとお箸が並べられると、ようやく食事に開くものだと納得されたようで、私も手伝おうか？とおっしゃって下さりました。

以前にくらべ、お膳は隅にあるお皿が手前の溝で取りにくかったりお皿同士ぶつかり、こぼれやすかったのがラッチョンマットだと問題なく改善されました。なによりも一番良かったことはお膳の旅館の食事、ほせがらユニットならではの家庭っぽさのある食事の雰囲気を利用者さんに提供出来たことです。

「これからも皆さんが新しい視点などを参考に、利用者さんのより良い生活を応援できたと思います。」



今、Eユニットでは「洗浄した食器を食事後に拭いて頂く」という援助提供を行っています。みなさん最初はどつするんだろ？つと、つとまどいがあったようですが近頃は手慣れた様子で食器を拭いて下さいます。「きれいになるわ」「水が落ちるで」など会話を楽しむとともに「昔はようやくとった皿を割って叱られたわ」と昔を思い出した会話も伺え、時代の流れを感じずにはいられません。

現代では「食器洗浄器」という便利な機器の発達により「食器を洗う」「拭く」などの手間が省かれ「物を大切にする」気持ちも失われがちになっていきます、利用者様の「こういった姿を見て私たちは「大切な気持ち」も思い出すことができました。



Eユニットだより

皆さん「私たちは毎日どんな事をして過しているか」改めて考えたことはありませんか？家事や仕事、子育てと忙しい日々を追われ、自分の時間を持つ「ゆとり」がなく、そんな暇もないかと思えます。でも1つだけ想像して頂きたいことがあります。それは「何もしない単調な日々を過す」という事です。1週間2週間ぐらいならそんな生活も良いかと思えますが、年単位で想像すると…私は耐えられなくなりました。

Eユニットの職員は毎日忙しく時間を過していません、利用者の方は「自立」されている方、そうでない方と様々であり、その生活は単調になりがちです。そこで職員たちは少しでも楽しみを感じて頂くこと「体操」や「歌」の時間を作り、皆さんと楽しく時間を過しています。今後はこの取り組みを広げていき、もっと楽しみを感じて頂ける様な「何かを」提供していけたら…と考えています。



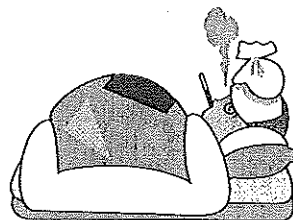


～ インフルエンザの予防について ～



インフルエンザは冬に流行する風邪の一種ですが、他の風邪と異なり 38 度から 40 度近い高熱・倦怠感・関節痛・筋肉痛など全身症状が激しいのが特徴です。くしゃみや咳などによりウイルスが飛んで、それが他の人の呼吸によって吸い込まれ感染する飛沫（ひまつ）感染をします。特に次の人達はインフルエンザにかかりやすく、また重篤化しやすいので注意が必要です。

- ・ 65 歳以上の高齢者
- ・ 慢性の肺疾患（肺気腫、気管支炎、肺結核など）
腎疾患（慢性腎不全、血液透析患者）
心疾患（心不全など）
- ・ エイズなどの免疫不全あるいは免疫が極度に低下した人
- ・ 糖尿病などの代謝異常の人
- ・ 小さい子供、赤ちゃん



インフルエンザの予防としては次のようなことがあげられます

- ① 日頃から体調を整え抵抗力をつける（夜更かしをしない、食事をきっちり摂るなど）
- ② 人ごみを避けウイルスに近づかない
- ③ 適度な温度や湿度を保つ（ウイルスは乾燥を好むので加湿器などを付けて喉の乾燥を防ぐ）
- ④ 外出後の手洗い、うがいをする
- ⑤ マスクを着用する（かかってしまったらマスクをする、他人にうつさない）
- ⑥ インフルエンザの予防接種を受ける（かかりにくくなり、かかったとしても症状が軽く済む）

犬山白寿苑では、11～12 月にかけて全入所者、職員に対しインフルエンザの予防接種を行います。苑内において感染予防には十分注意していきたいと思いますので、来苑者の方々も面会時のマスク着用や、手指消毒にご協力お願いします。

Aユニットの食卓



Aユニットの食卓はとても明るく、「ご飯にしますよお～」と声を掛けると元気よくキッチンのほうへ集まって来させていただきます。

利用者様のお気に入りの音楽を流し始めると、ご飯の準備が始まります。

ただ、椅子に座って食事がくるのを待っているのではなく、ランチマット敷き、お箸やスプーンを手に取り進、準備をしていただきます。

そして、お味噌汁やおかずを人数分に盛りつけるのを手伝ってくださる方。そのお陰でスムーズに食事をする準備が出来るので、私達職員はとても助かっています。

食事が終わると食器を重ねお盆にものせていただきます。

利用者様同士での会話も最近では多くみられ、最近顔を見ない方がいたりすると心配の声も聞こえてきます。

そんな温かい食卓があり、微笑ましく感じる今日この頃です。



デイサービスでは毎年10月中旬に、万国旗を飾り

運動会を行っております。今年の競技は「玉入れ」「ケツ圧でドン！」

「宝を集めましょう」の3種目で、紅白に分かれハチ巻きをする

利用者さん達が、やる気に満ちあふれた表情に変わります。人気種目「ケツ圧でドン！」は、お尻で風船を割る競技ですが、風船を割る時なかなか割ることが出来ず早く割ろうと必死になり大音響でドン！と割れると、競技者も見ている方も笑顔一杯で拍手が沸きます。

秋も深まり寒さも少しずつ増しますが、体調崩さずご利用下さることを職員一同願っております。



「幸せ」を求めて

福祉の仕事を通して得る学びは多いが、近頃では「人手不足」等の問題が取り上げられ、市場回復見込みの期待は薄い、しかし様々な問題が解決されたとしても利用者様一人ひとりの「生活の質の向上」に一番かかわっているのは私たち「援助者」であり、そこで重要なのはやはり一人の人としての「在り方」ではないかと思つてならない。人としての成長を求め、心豊かに生活していくことが豊かな人間性を生み出し、それがまた「よりよいケア」の提供と利用者様の「生活の質の向上」につながるのだろう。そしてともに「笑顔」となつて喜びを共有できたその瞬間こそが一番の「幸せ」なのだろう。



十一月予定行事

- 十一月十五日 音楽療法(鑑)
- 十一月十六日 つくし会慰問
- 十一月十七日 床屋(鑑・尚)
- 十一月十八日 歌と踊りの花しるべ
- 十一月十九日 雅鳥慰問
- 十一月二十六日 床屋(寿)
- 十一月三十日 コワロかかし慰問
- 十一月下旬 さらさくらへ外出(EH二)
- 十一月下旬 誕生日会(デイ)
- 毎週水曜日……囃子医往診
- 月・水・金曜日……歯科往診
- 月・水・金曜日……マツサージ往診
- 毎月第一木曜日……皮膚科往診
- 毎月第二木曜日……理学療法士

ボランティアさん募集します

ご利用者の娯楽、心身のケア、苑内外の美化活動など多くのボランティアの方々にご来苑頂き、誠にありがとうございます。当苑では利用者様との話の相手や、手芸のお手伝い、施設内外の清掃活動などご協力頂けるボランティアさんを随時募集しております。特別な技術や資格は必要ありません。得意な分野や興味のある活動を選んで参加してみてください。詳細等お聞きになりたい方はご連絡下さい。

担当者 東

〒484-0000 愛知県犬山市字洞田 30 番地 1

TEL : 0568-67-6699

(ナーシングホーム) ショートステイ・デイサービス

TEL: 0568-67-6684

(ケアマネージメント・在宅介護支援・地域包括支援)

FAX : 0568-67-8910

(全犬山白所寿共苑)

E-mail: hakujuen@vega.ocn.ne.jp

HP: http://www.Seirinkan.ed.jp/hakujuen/index.html

ナーシングホーム(特養)犬山白寿苑

デイサービスセンター犬山白寿苑

在宅介護支援センター
犬山白寿苑

敬愛
犬山白寿苑

地域包括支援センター
楽田地区サブセンター

犬山白寿苑 ショートステイ

犬山白寿苑 ケアマネージメントセンター